

【令和 7 年度分 様式 4】

令和 7 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

【国際交流・都市と山間教育交流】

学校番号（57） 学校名 豊田市立道慈小学校

1 テーマ

小原・道慈のすばらしさを知らせ、それぞれの地域の特徴を学ぼう
～衣丘小学校との交流活動を通して～

2 ねらい

- ・伝統工芸である小原和紙の作り方と小原の郷土料理の一つである五平餅の作り方を相手校の児童に教えることを通して、小原和紙や五平餅について再認識するとともに小原の文化への誇りをもつ。
- ・1～4 年生は衣丘小学校の「みかん祭り」に参加し、みかんの収穫までのお世話についての説明を聞き、ともに収穫することで収穫の喜びと育てる苦勞を感じる。
- ・1～4 年生は衣丘小学校の授業に参加することで「大人数の授業」を体験するとともに、自分の考えを堂々と発表する力を育てる。

3 活動内容

- ① 5 月、衣丘小学校の 4 年生が来校した際、4 年生が和紙作りと和紙体験、5 年生が道慈小の名所についてのオリエンテーリング、6 年生が五平餅作りを担当し、交流会を行った。縦割り班に入ってもらい、全校で交流をした。
- ② 11 月、1～4 年生と特別支援学級の児童が衣丘小学校を訪問し、みかん祭りについて説明を受けたりみかん狩りを体験したりした。また、衣丘小学校の 1～4 年生と特別支援学級に、それぞれの学年・学級に分かれて入り、大人数の授業を体験した。1 クラス 30 人以上の慣れない学級の中で、多くの児童が発言したり、相手校の子に積極的に話しかけたりしていた。

4 成果と課題

- 和紙や五平餅、道慈小のおすすめ箇所について調べることで、小原について改めて理解を深めたり、他地区との違いを認識したりし、小原地区を誇りに思う気持ちが一層強まった。また、調べたことをまとめて発表する力を伸ばすことができた。
- 1～4 年生は小規模校と大規模校との違いを体験し、いろいろな学校があることを学ぶとともに、自分たちの学校、少人数のよさを再確認することができた。
- 今年度も五平餅づくりで保護者ボランティアに参加していただき、「子どもたちが誇らしげに説明している姿を見られてよかった」という声をいただいた。
- ▲バスの配車の都合で、活動時間が短くなり、スケジュールが厳しかった。
- ▲和紙や五平餅など、49 名の児童で 100 名以上の準備をするのは大変だった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校だよりや学年通信、ホームページで、5 月と 11 月に衣丘と交流の活動を紹介した。